

# 一 般 質 問 発 言 通 告 書

平成 2 0 年 6 月 定 例 会

蒲 郡 市 議 会

	質 問 者 (質 問 日)	要 旨
1	日 恵 野 佳 代 (6 月 10 日 (火))	<p>1 保育園の民営化について</p> <p>市は公立であったみどり保育園を、この4月から民営化しました。民営化しても保育の質は下がらない、公立と民間が切磋琢磨して、よりよい保育が行われる、としてきました。みどり保育園の現状について伺います。また次に民営化が予定されている鹿島保育園について伺います。</p> <p>(1) みどり保育園の食事について</p> <p>保護者から給食やおやつが公立の時と比べて少ないのでは、という声があがっています。公立保育園とみどり保育園の献立表を比べると、似たようなメニューでも一品少ない日や、全く違う日があります。また市は乳児(0, 1, 2歳児)と、幼児(3, 4, 5歳児)は違う献立となっていますが、みどり保育園は乳児も幼児も同じメニューとなっています。みどり保育園の保護者への説明では、献立は市統一としています。</p> <p>ア 給食やおやつについて、苦情が寄せられたと聞きますが、その内容と、市の対応を伺います。</p> <p>イ 公立保育園と同じ質が保たれているのか、どう検証するのか、伺います。</p> <p>(2) みどり保育園の職員について</p> <p>質の高い保育には、職員の安定した雇用が欠かせません。民間保育園は人件費を抑えるために、パートや臨時など不安定雇用の保育士を多く使うことを、これまでの議会で指摘してきました。労働基準法は守られているのか、雇用形態、体制について伺います。</p> <p>ア 保育園、一時保育、子育て支援センターの全職員の体制について</p> <p>「保育にあたる職員は、保育士証を有する者であること。保育園勤務経験が5年以上の経験を有する者が全体の3分の1以上、保育園勤務経験がない者は全体の3分の1以下とする」など、市が民営化の際に出した条件や契約は守られているのか、伺います。</p>

	質 問 者 (質 問 日)	要 旨
		<p>イ 市の保育士の派遣について  現在、何人がどんな仕事を担当しているのでしょうか。「落ち着いたら、引き揚げる」との判断の基準、予定、引き揚げた後の保育体制について伺います。</p> <p>(3) 民間保育園が安定して運営できるよう、国、県、市などが支援をしています。その内容、基準、渡し方などについて伺います。</p> <p>(4) 鹿島保育園について  みどり保育園の民営化の検証がされないうちに、次の民営化を進めるべきではないと考えます。現状、今後の予定などを伺います。</p> <p>2 安心して農業にはげめる農政と、食の安全のために  市長は学校給食に奥三河の米を使うなど、食と農について、特別の努力をしています。  しかし日本の食料自給率は39%と下がり続けています。特に穀物自給率は27%しかありません。世界では食糧不足が国際問題になっています。輸入に頼っているのは、安定して食料を確保することは出来なくなっています。また、日本が海外から大量の穀物を買うことは、世界の飢餓を深刻にします。緊急に自給率を向上させることは国際社会への貢献ではないでしょうか。市長の見解を伺います。</p> <p>(1) 蒲郡の農地  ア 耕作地の減少、耕作放棄地の増大、ほ場整備をしてすぐ耕作放棄地になるなどについて、現状と対策を伺います。  イ 農業者からは遊休農地対策として、草刈りのかわりのレンタル羊や、枯れると肥料になる植物、ブルーベリーなど落葉果樹を植えるなどへ、市の支援を要望する声が聞かれます。農業者の声を具体的にどう生かすのか、伺います。</p> <p>(2) 農業を始めたい人への支援策・・・青年と定年帰農者  06年の新規就農者は、全国で8130人のうち、39歳以下は18.2%、60歳以上は47.9%でした。蒲郡の農業従事者や後継者の現状と対策を伺います。</p>

	質問者 (質問日)	要 旨
		<p>(3) 生産者への支援            農業は天候に大きく左右され、安定した生産の難しい産業です。かかったコストを価格保障し、また所得補償も行うことは、ヨーロッパやアメリカでも行われています。これらの制度を国に求めるとともに、蒲郡での個別的な支援策を伺います。</p> <p>ア 残留農薬の基準が明確化され、登録農薬がすくないつまもの対策</p> <p>イ 荒れた田で、あぜ道しかないとなりの作物の耕作に支障があるなど、農道などの基盤整備の支援。</p> <p>ウ 国の補助事業はポイント制で、蒲郡の農業はポイントを上げにくい作物のため、さまざまな補助が受けにくい対策。</p> <p>(4) 共同を広げて、「食の安全」と地域農業の振興、食育を</p> <p>ア 農村生活アドバイザーの力を発揮して</p> <p>イ 地域の農産物をもっと使う方法として、学校や保育園の給食やおやつ、市役所や観光産業での連携など</p> <p>ウ 地元の特産物や資源を生かした農産加工や販売</p> <p>エ 食育の取り組み、学校や保育園が畑などを作っている状況</p> <p>(5) 農業従事者アンケートを生かして            昨年9月に農林水産課が実施した調査の内容、農業振興地域整備計画について</p>
2	新実 祥悟 (6月10日(火))	<p>1 指定管理者選定について</p> <p>(1) 平成20年度の選定対象施設</p> <p>ア 契約期間満了に伴う更新施設について</p> <p>イ 募集要項の変更について</p> <p>ウ 管理契約の変更について</p> <p>(2) 市民プールについて            廃止を含めた運営方法の見直しはありますか</p> <p>(3) ソフィア看護専門学校について            運営方法の見直しはありますか</p> <p>2 蒲都市第2次障害者計画について</p> <p>(1) 第1次障害者計画の成果と課題について</p> <p>ア ノーマライゼーションという基本理念をもとに</p>

	質問者 (質問日)	要 旨
		(2) 第2次障害者計画について ア 計画策定の経緯 イ 基本理念変更の意味 ウ 重点プロジェクトとは エ 施策の推進について オ 人としての施策について カ 推進体制の整備について
3	野崎正美 (6月10日(火))	1 23号蒲郡バイパスと247号について (1) 特定財源による蒲郡市への影響 (2) インター周辺道路について (3) 247号の現状と進捗状況 2 蒲郡競艇施設改善について (1) 売上実績と今後の見通し (2) 改善の主旨、規模、期間 (3) 避難施設としての使用について
4	来本健作 (6月10日(火))	1 観光振興について (1) 競艇事業広告へのタイアップについて (2) 名鉄蒲郡線及び路線バスなど観光客の交通手段について (3) 宿泊観光客2割アップへの推進体制について 2 妊産婦に優しい環境づくりについて (1) 妊産婦検診の拡充について (2) 出産前後に関わる支援策について (3) マタニティマークの周知について
5	大向正義 (6月10日(火))	1 蒲郡市医師会の委託費不正受給について (1) 平成20年3月定例会以降の状況について (2) 医師会理事会について (3) 提訴について (4) 市の責任と職員の処分について

	質問者 (質問日)	要 旨
		<ul style="list-style-type: none"> <li>(5) 現在の責任体制</li> <li>(6) 平成19年度の人間ドックと休日急病診療所委託費の精算について</li> <li>2 人間ドックについて <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「医師会の人間ドック委託からの撤退」の撤回の経過について</li> <li>(2) 人間ドック運営委託事業の契約内容について</li> <li>(3) 自動分析装置について</li> <li>(4) 人間ドック運営事業のコストアップについて</li> <li>(5) 「人間ドック」は市の事業として必要か</li> </ul> </li> <li>3 後期高齢者医療について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 後期高齢者医療における検診について</li> <li>(2) がん検診について</li> <li>(3) 人間ドック、脳ドックについて</li> </ul> </li> <li>4 市民病院について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 現状について</li> <li>(2) 市民病院の医師が求める市民病院について</li> <li>(3) 老朽化した医療機器の更新について</li> <li>(4) 医師の確保について</li> <li>(5) 二次病院としての採算性について</li> <li>(6) 市民病院を守るために必要な市からの繰り入れ額について</li> </ul> </li> </ul>
6	小林 優一 (6月11日(水))	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 蒲郡市民病院の経営状況について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 医師不足に伴う産科の現状と今後の見通しについて</li> <li>(2) 他の診療科の現状について</li> </ul> </li> <li>2 交通安全について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 今年度蒲郡市内で発生した、3件の死亡事故について</li> </ul> </li> <li>3 財政の健全化について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 蒲郡市の抱える借金について</li> <li>(2) 地方財政健全化法への対応について</li> </ul> </li> </ul>
7	鎌田 篤司 (6月11日(水))	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 がまごおり児童館の改善計画について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) がまごおり児童館の建替えについて</li> <li>(2) 蒲南小・蒲南保育園との一体的な整備について</li> </ul> </li> </ul>

	質 問 者 (質 問 日)	要 旨
		2 消防団の活動拠点について ( 1 ) 火災、地震災害時における消防団施設等の充実・強化について
8	飛 田 常 年 (6月11日(水))	1 蒲郡市の農業施策について ( 1 ) 農林水産課の復活について ( 2 ) 鳥インフルエンザの対応について 2 環境問題について ( 1 ) エコキャップについて ( 2 ) I S O 1 4 0 0 1 取得について 3 子供の安心安全対策について ( 1 ) 交通指導員について
9	荘 田 博 己 (6月11日(水))	1 市民の大きな負担が必要となってくる「設楽ダム計画」について ( 1 ) 変更を余儀なくされているダム堤の位置について ( 2 ) 蒲郡市の水道需要予測について ( 3 ) 蒲郡市の農業用水需要予測について ( 4 ) 蒲郡市の工業用水需要予測について ( 5 ) 東三河5市1町の水需要予測について ( 6 ) 設楽ダムの必要性について 2 国道23号バイパス工事について ( 1 ) 工事に伴う神ノ郷町・坂本町・清田町・水竹町地内の工事用車両の通過と安全対策について 3 競艇事業について ( 1 ) 働く人の安全と耐震改修について ( 2 ) 施設改善と岡崎交付金について
10	大 竹 利 信 (6月11日(水))	1 学校のアレルギー疾患について ( 1 ) 新ガイドラインの取り組みについて

	質 問 者 (質 問 日)	要 旨
		2 地域活動において、緊急時の対応について ( 1 ) A E Dの無料貸し出しサービスについて 3 リサイクルの推進について ( 1 ) 携帯電話に含まれるレアメタルリサイクルについて
11	大 場 康 議 (6月12日(木))	1 安全安心対策について ( 1 ) 木造・非木造住宅耐震診断について ( 2 ) 防災行政ラジオについて ( 3 ) 火災報知器設置の義務化について 2 新消防庁舎に関連する道路整備について ( 1 ) 五井線等について
12	松 本 昌 成 (6月12日(木))	1 防災対策について ( 1 ) 蒲郡市耐震改修促進計画について ( 2 ) 学校施設の耐震化について 2 食育の推進について ( 1 ) 県の数値目標に対する取組状況について ( 2 ) 蒲郡市食育推進計画策定について
13	伊 藤 勝 美 (6月12日(木))	1 学校教育の諸問題について ( 1 ) 学校図書の充実について ( 2 ) 小中学校の児童生徒に関わるインターネット上での、いじめ及び裏サイトの実態と今度の対策について 2 蒲郡市の震災対策について ( 1 ) 災害時優先電話(携帯電話)の活用について ( 2 ) 今後の震災対策に、防災意識調査をどう反映させるかについて ( 3 ) 震災時のトイレ対策について ( 4 ) 震災時情報の伝達・収集システムの構築について ( 5 ) 蒲郡市地震災害初動対応マニュアルを踏まえた各所管の即応体制の確立について ( 6 ) 震災時の避難路、物資輸送路の総点検について

	質 問 者 (質 問 日)	要 旨
14	伴 捷 文 (6月12日(木))	<p>1 交通事故死ゼロ381日目の事故について</p> <p>(1) 消防署の救急車の対応について</p> <p>(2) 消防庁舎新設後の救急車配備について</p> <p>2 名鉄、西尾蒲郡線の存続について</p> <p>(1) 現状について</p> <p>(2) 存続についての対策</p>
15	柴 田 安 彦 (6月12日(木))	<p>1 市民病院について</p> <p>(1) 地域保健医療計画と医師確保について</p> <p>病院の経営悪化や医師不足の根本原因は、政府の医療費抑制策、医師数抑制策にあるのではないか。その転換をはかるための手だてをどうとるか。地域保健医療計画にも、重点課題として位置づけるよう働きかける必要があるのではないか。</p> <p>(2) 公立病院改革プランについて</p> <p>公立病院改革ガイドラインは、公立病院の再編・縮小・廃止を推進して、財政支出を減らす「改革」をめざすもので、住民の望む地域医療の確保という観点が欠落している。本市の改革プランの策定に当たっては、住民の命と健康をまもるために、公立の二次医療病院として維持、充実をはかる立場を貫くべきではないか。</p> <p>(3) 市民病院の経営状況と当面の対策について</p> <p>病院スタッフと経営の状況はどのように推移しているか。最近の患者減少をどうみるか。また、当面の対策をどう考えるか。</p> <p>(4) 市民病院の「応援団」について</p> <p>2 後期高齢者医療保険と国民健康保険について</p> <p>(1) 後期高齢者医療保険制度の評価と対応について</p> <p>同制度に対する市民の批判は厳しく、廃止を求める声が強い。改めて市の評価と対応を伺う。</p> <p>(2) 国民健康保険税の年金からの特別徴収について</p> <p>(3) 国民年金保険料の滞納者に対する短期保険証の交付について</p> <p>(4) 70歳からの定率負担、高額療養費限度額の引き上げについて</p> <p>(5) 国保税の引き下げについて</p>



	質 問 者 (質 問 日)	要 旨
		<p>3 保育園給食の自園調理について</p> <p>4月から児童福祉施設最低基準が「入所している者に食事を提供するときは、当該児童福祉施設内で調理する方法により行わなければならない」と改正された。市長は予算委員会で、自園調理に切り替える方針を明らかにした。</p> <p>(1)従来センター給食のあり方について</p> <p>(2)自園調理への移行計画について</p> <p>(3)特区申請について</p>